

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
HP: <https://tsubusa.com/>

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第75号 令和6年4月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

令和6年度の区長さん方ご紹介

去る3月30日夜開催された区長会総会で、令和5年度の活動内容と会計報告が満場一致で承認され、また、6年度の事業、予算案も原案どおりにて承認されました。

続く新区長の紹介と役員選出協議の結果、下表のとおり選出されました。区長各位には管轄集落の運営や当津房地区のリーダ役としてご多忙な一年となりますが、何卒よろしくお願い致します。

集落	氏名(敬称略)	区長会役職	集落	氏名(敬称略)	区長会役職
檜本	永田 雅春	副会長	板場	裏 章司	監査
東恵良	恵良 清美		川崎	渡邊 裕治	
尾立	吉村 耕一	会長	松本	井福 豊年	
尾立営団	中村 泰夫		小田	安部 清己	
六郎丸	石川 信二		丸田	小野 廣幸	
五郎丸	相原 裕		大内	矢根 秀一	
若林	西田 彰		中間	渡辺 政夫	書記
東椎屋	遠嶋 一幸		中間営団	吉武 繁雄	
萱籠	江藤 清次	会計	小唐川	佐藤 豊孝	

☆減災グッズを追加配備しました☆

地区のあんしん生活の向上の一助にと、今回は手づくりの木製箱に通常必要な医療資材を納めた「救急箱セット」18個を調達し、各集落の区長さんへ配備しました。

集落の草刈り共同作業やイベントで負傷者が出た際、応急処置できるよう、毎催事に携行頂こうという趣旨です。

当協議会あてに寄せられた「ふるさと納税・寄付金」を活用、また、木製箱は、当協議会活動の一環で行っている「**あんき工房**」で制作したもので、屋外での使用にも絶えるよう、頑丈なつくりとしています。

去る3月30日の区長会総会の中休み時間に、あんき工房を代表して相原裕さん(五郎丸)と田口憲司さん(尾立)から各区長さんへ手渡し、ご利用をお願いしました。



← 松本区長・井福さんへ
田口さんから贈呈
手作り救急箱 ↓



春の全国交通安全運動

4月6日～15日の全国一斉活動期間中のうち、土日を除いた6日間の朝7時半～8時の時間帯、六郎丸交差点にて交通安全呼びかけのプラカードを掲げて児童の見守りと通行車両への啓発活動を行いました。

交通安全協会、女性ドライバー安全会、小学校の先生方、そして当協議会あんしん生活部会員など、延べ52人もの方々が輪番で出役頂きました。

地区区長会長、地区交通安全協会分会長、校長先生、駐在さんのガードで交差点を渡る10人の児童



丸田五柱神社境内と
由布岳大砂防ダム



前号でご案内した一般参加者向けのツアー、好天に恵まれた3月3日に行いました。ツアーコンダクターをお願いした荷宮英二さん(松本)と観光ボランティアガイド役の小野正雄さん(丸田)の引率のもと、地区内外からの参加者35名で予定通りのコースを巡りました。

今回の目玉は津房川の源流を極めること、そして、世帯の殆どが「小野さん」という丸田集落で地元の史跡に触れ、集落公民館に飾られた望月陽子さん(安心院・恒松)のお手製「ひな飾り」で春を愛でるというメニューでした。

湯布院・秋吉組さんのご協力により、ふだんは立ち入り出来ない由布岳の大砂防ダムの中では津房川の源流を体験でき、また、丸田集落では優雅なひとときを過ごせたうえに山野草の鉢物のお土産付き、参加者各位には満足頂けた筈です。

津房探訪ツアーへ一般向け盛況でした

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ご寄付のお知らせ

佐藤 洋一さん(五郎丸)より
ご母堂 輝子様(享年九十一歳)のご逝去に際しての香典返しのご寄付を頂戴いたしました。

岩男 博之さん(檜本)より
ご尊父 正昭様(享年九十五歳)のご逝去に際しての香典返しのご寄付を頂戴いたしました。

たいへん有難うございました。当協議会の高齢者対象事業に活用させていただきます、ご意向にお応えして参ります。

津房少年消防クラブの卒団式

今春の津房小学校卒業生8人のうち3人が少年消防クラブの団員で、これまで防火週間の呼びかけなどで活躍していましたが、中学への進級により卒団の日を迎えました。

卒団の節目として、去る3月3日の午後、地区公民館で主宰の濱野俊久先生(六郎丸)の指導のもと、非常時の自活能力の訓練を兼ねたカレーライスの調理と試食を行ったあと、全員で中央機庫の消防車に乗ってのパトロールに出動、最後の務めを果たしました。

個人情報管理の都合で氏名掲載できませんが、永年に亘る団員活動を讃えましょう!



大分合同新聞社関係の新入社員研修

コロナ禍以前に当地区での一泊研修など行っていた表題の研修がことし再開となり、去る4月4日～5日、8名の方々が総務部門の引率者とともに来訪、農村体験を主に研修しました。

宇佐市が進めているコミュニティ組織運営事業の趣旨や事業内容について地区公民館で説明を受けたあと、実際の農作業を体験してもらい、景観向上活動の一環とするためマリールド、サルビアなどの夏花苗350本を六郎丸交差点脇の休耕田に植えて頂きました。

前日の雨で泥田状態の最悪の作業環境に悪戦苦闘しながらも、若さと根性で仕上げてくださいました。

(民宿での夜のビールはさぞ美味しかったです!)

